

議

会

報

告

会

市民の皆様からの「ご意見・ご要望」が議会で議論されました。

5

月7日、8日、9日の3日間、市内9つの会場で議会報告会を開催致しました。6月定例会では、その際に市民の皆様から頂いたご意見やご要望について、一般質問や各常任委員会を通じて議論しています。ここでは、皆様のご意見等に対する市当局の答弁を中心にお知らせ致します。仙北市議会では市政に対しより民意を反映させるため、今後も議会報告の開催を積極的に進めて参ります。

企業誘致・企業支援

質問 地元で清掃業務を行う事業をしているが、なぜ市の入札に参加できないのか。

答弁 登録/発注業者の確認を徹底し、地元業者が入札に参加しやすくなるようサポートしていく。

要望 司食品工業誘致について、詰めをしっかりと欲しい。また、地元住民の青森工場視察を要望する。

答弁 誘致については、今後、企業側並びに秋田県、金融機関等も含め具体的な打合せのもとに進める。視察については、企業側と相談の上実施できるよう調整したい。

要望 若者が少ない。年配者も働ける企業を誘致して欲しい。

高齢者支援

答弁 新規の企業誘致となるとそれなりの敷地も必要なため、今後工業団地の調査をしたい。市内企業の育成と併せて努力する。

意見 高齢者宅の除雪について、この地域は非常に雪が多いし、住宅が幹線道路から20〜30メートル以上離れている家も多々あり、除雪が困難な場所も多いため、まずは、こうした家々がどの程度あるのか調べるべきである。

答弁 住宅から公道までの距離が離れている家は、市内全域にみられる。積雪時の状況によってもかなり違いがあり状況の把握には至っていない。高齢者世

市立病院

帯等除雪支援事業の申請時や利用後の意見を伺うとともに、民生委員、行政連絡員の意見も聞きながら検討する。

意見 市立病院におけるスタッフのあいさつなど、接遇面を向上させて欲しい。

答弁 接遇については、今まで様々なご意見や苦情を頂いており、その解決に最大の努力を傾注してきた。最近では、これまではなかったお札の言葉も届くこともある。病院では、常に患者の安全を守り、患者の満足と自立への援助を考えた看護を提供し、笑顔と人の輪の大切さを心がけている。しかし、苦情等がなくなった訳ではなく、

道路・河川

様々な意見や苦情については今後とも真摯に対応し、接遇の向上に努め、病院としての信頼を更に高めていきたい。病院では、医療スタッフの接遇向上対策として、病院内各所に意見箱を設けている。様々な意見や指摘に対しては、院内の「意見要望対策委員会」で対応を協議し、回答を病院内へ掲示し広く周知し、接遇の向上等に活かしている。

ているが、歩道の整備の後7月31日以降に開通させたい。また、27年度で梨田橋の管工事が終了すればその部分も開通させる。中央線と既存道路の接続部分が高くなっている部分については再確認して検討したい。これらをチラシで周知する。

質問 角館地区の赤川都市下水路についての水害対策はどのようになっているのか。

質問 神代中央線の進捗状況は？また、既に完成しているにも関わらず通行できない区間もあるがなぜか。

答弁 平成26年度で70%の進捗である。内陸線前郷踏切から国道105号までの車道は完成し

答弁 下水路化や新たな水路の整備は事業費の関係からかなり難しい。そのため、角館病院前の水路中にある融雪ポンプを移設し、流れを確保するなどした経緯もある。また、角館駅の北側のJRの横断部で暗渠に集水する下水をできるだけ分散させる対策を行っている。

木質バイオマス施設

意見 廃止された木質バイオマス施設について、これまでの収支はどうか。はつきりさせざるべきである。

答弁 収支についてはこれまで約1億1,300万円程の赤字であるが、うち、間伐材チップの購入に約4,300万円の支出があり、林業活性化と未利用資源の活用面においては一定の効果があったと考えている。

意見 北秋ではペレットを活用しているが、本市でもペレットストローなどを導入してはどうか。

答弁 今のところは考えていないが、木材関係の方々と協議しながら検討したい。

秋田内陸縦貫鉄道

意見 内陸線については、1人あたり、いくらかけて乗せていいのか。基金もあるうちに廃止するべきである。「抜本的に見直す」と言ってから、既に何年になるのか。

答弁 廃止、存続問題については、基金も含めて検討していく課題と認識している。また、計算すると1人あたり料金に631円をプラスして乗せていることになる。

意見 沿線住民が過疎で減少している現状では観光客に乗ってもらうしかない。とすれば、本社機能を、新幹線が止まる角館に持つてくるのが最良策でないのか。

答弁 これまで、角館駅に本社機能を置くべきではないかという提言を数回受けている。沿線住民の人口減少に歯止めがかからない中、観光誘客のため本社機能移転も含めて、検討の必要性を感じている。しかしながら、移転費用や走行距離100キロの秋田内陸線における運行ダイヤの管理上、中間にある阿仁合駅にあるのが望ましいという結論である。

意見 田沢湖や角館地域ではないという声も多い。確かに、実際に人口が減少する中で、代替交通としてのデマンドタクシー

もできなかったため、内陸線の利用者数が少なくなったことは事実。しかし、人が住んで生活しているうえで、鉄道路線があるとならばいい。市民に理解してもらいながら存続させて欲しい。また、内陸線支援団体も自ら立ち上がり、寄付金を集め、新たな車両を買おうとしている。市や議員も支援して欲しい。また、路線を維持するために、会社には他の事業にも取り組んでもらいたい。

答弁 会社も観光・誘客等様々な努力をしており、評価できる部分も多い。市としても赤字の補填や料金等の助成をしている。

その他

意見 だしの湯は、現在、入浴料が370円で、毎日利用した場合に決して安くはない。回数券もあるが、半年券、年間券など、更に割引パスを導入して欲しい。だしの湯の従業員について、揃いのユニフォームなどを着用させるべきではないか。だしの湯

では、30回で1回無料になるスタンプ券があるが、30回使用する間に、券そのものが痛むため、簡単なケースに入れるなど、改善してほしい。だしの湯の従業員には、もっと笑顔で対応してほしい。

答弁 利用者の意向を把握するとともに毎日利用する方の割引方法について検討する。ユニフォームは、現在は揃いのユニフォームを着用している。スタンプ券は、券が痛まない方法を探るとともに、ケースについては、有料を含め検討する。笑顔はもっとも重要なサービスであると考えている。徹底して指導する。

要望 紙風船館の隣で「わくわくマーケット」として、地域で屋台をやっているが、市に賃借料を支払っている。無料にならないのか？

答弁 女性だけの団体で地域のために活動していることは承知しているが、営利的な事業活動であり、他の地域でも同様な団体から賃借料を徴収している中で、条例上無料にすることは出

来ない。

意見 入湯税については、自己申告的部分もあり、正確な納税になっていないのではないか。税額をきっちり把握し、徴収できる体制を構築すべきだ。

答弁 義務付けられている台帳確認をしているので問題ないと考えている。

意見 モーグルワールドカップについて、他国チームに積極的な営業をするべき。補助もしながら2年目以降も盛り上げて欲しい。

答弁 来期は審判棟も増設し、秋田県とも協力しさらに盛り上げていく。

意見 地方創生特区については議会も一緒に取り組んで欲しい。

議会 6月定例会で地方創生特別委員会を設置し積極的な議論と提言を行う。

意見 学習の一環として、市内の小中学生にも議会を見学させるなどするべきではないのか。

議会 (荒木田議員の一般質問で取り上げました。詳細は議会だより4ページをご覧ください)

※紙面の都合上、市民の皆様からのご意見・ご要望・ご質問等の一部のみを掲載しておりますので、ご承願いたします。
※全ての内容につきましては、仙北市ホームページ中の市議会ページに掲載致しますので、そちらをご覧ください。